

タマゴケ科

# オオサワゴケ

*Philonotis turneriana* (Schwaegr.) Mitt.

兵庫県ランク… B

環境省ランク… -

## ■ 県内分布

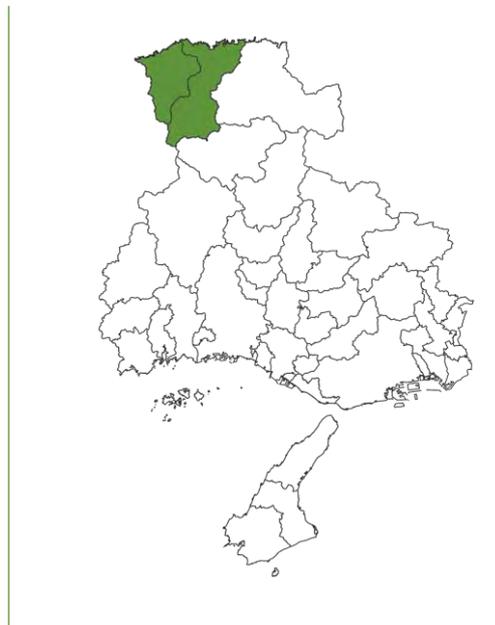
香美町、新温泉町

## ■ 国内分布

本州、四国、九州、琉球諸島、小笠原

## ■ 選定理由

| 人為性    | 特殊性    | 学術性   |
|--------|--------|-------|
| 生育環境破壊 | 特殊生育環境 | 特殊な分布 |
| 観賞用等採取 | 特異な生態  | 分布の限界 |
|        |        | 希少    |
|        |        | ○     |



## ■ 特記事項

-

## ■ 保護上の留意点

-

## ■ 種の概要

普通種のコツクシサワゴケよりも大きく、茎は長さ2-5cm。葉は長さ2mm以下、狭三角状披針形で長く尖り、最下端がもっとも幅広い。葉縁には細かい歯があり、平坦で、ときに片側の縁が弱く反曲する。中肋は強くて葉先に届くか短く突出し、突出部にはパピラ状の突起がある。葉身細胞は線形で、腹面の上端には明瞭なパピラがあるが、背面は平滑。雌雄異株。蒴柄は長さ2-3cm。枝端に小枝状の無性芽をつけることがある。湿った地上や岩上に生育する。